

放課後子ども教室【千代田区】

| 活動場所 | 学校内 | 学校外 |
|-----------|------------|---------------|
| | ○ | |
| 開催日数 | 243日／年間 | |
| 参加人数 | 66人／1日平均 | |
| 活動の特徴 | 自由活動型 ○ | プログラム活動型 ○ |
| 学習活動の特徴 | 自主学習 ○ | 学習プログラム ○ |
| 学童クラブとの連携 | 校内交流型 | |

■主な活動場所

校庭、体育館、図書室、家庭科室、ランチルームほか

■開催日

土・日・祝日を除く月曜日～金曜日

学校休業日、長期休業日も1日実施（8校中3校）

■参加対象

各小学校在籍の全児童

■申込み手続き

申込み不要。参加カード、名簿にて下校管理。

活動紹介

*千代田区放課後子ども教室は「学び」「遊び」「体験」の3本柱で実施している。

「学び」…毎日の宿題対応のほか、持参考教材の自学自習の場として専任指導員が見守り、子どもたちが自力で答えにたどり着けるようサポートしている。また学校とも連携し、タブレット使用を可能としている。タブレットを使った宿題や調べもの学習にも対応し、子どもたちが意欲的に学べる環境を整えている。

「遊び」…放課後の学校施設を有効に活用し、専任指導員見守りのもと、校庭、体育館などで自主的に体を動かして遊ぶ場所を提供している。室内で静かに遊んで過ごす時間もあり、トランプなどのカードゲームやボードゲーム、ぬりえなどを楽しんでいる。また工作や昔遊びなど、子どもたちが主体的に参加できるプログラムも実施している。下校時間の管理やシルバー見守り隊の見送りなど、子どもたちが安全に参加出来るよう徹底している。

「体験」…学校ごとに調整し、その内容について毎回更新。専門の知識と技術を持つ講師を呼んで指導してもらうことで、子どもたちがさまざまな経験ができる機会となっている。内容は、囲碁、ドッヂビー、ミニバス、ダンス、スイミング、一輪車など多岐にわたる。保護者、地域ボランティア協力のもと、区、学校、PTA、地域が一体となった取り組みになっている。

コーディネーターや地域の方々などの参加について

■採用・募集 コーディネーター（行政職員） 有償ボランティア（保護者、地域の方々）

■配置人数 コーディネーター（3名） 有償ボランティア（各校必要に応じて）

■運営体制 小学校ごとに校長、副校長、区、民生児童委員、青少年委員、PTA役員、有償ボランティアと年1回運営について報告、次年度について協議している。

千代田区の取組

■全教室数 全8小学校8教室

■事業目的 放課後の学校施設を活用し、子どもたちの安全・安心な居場所（学び・遊び・体験の場）を確保し、次世代を担う児童の健全育成を支援する。

■事業の成果等 学校との情報共有など連携を図り、実施場所の確保や実施内容の幅を広げている。各学校子どもたちの参加が増えており、放課後の子どもたちの居場所として確かなものとなってきた。